

Taneda's Coolsingel Cube

日本の美術監督、種田陽平が、スカulptチャー・インターナショナル・ロッテルダム (SIR) の依頼を受け、ロッテルダム Kruiskade (クライスカーデ通り) 2にある Monisima Cube (モニスィマ キューブ) のファサード・デザインを進めてきましたが、それがいよいよ期間限定で公開されます。この建物をいわば玄関口とする Kruiskade(通り)と幹線道路である Coolsingel (コールスィングル) が交差する辺りは、かつては大いに賑わった場所ながら、現在ではほとんどその面影をなくしてしまいました。それでもロッテルダムの大動脈といえる幹線道路に位置し、向かいにはヒルトン・ホテルというこの地は、やはり重要な地点に違いありません。この Coolsingel の街並を大々的に改修しようという計画が実施に移されるのに先立ち、種田がここに、漫画や映画、アムステルダム派様式の邸宅や建築物などの要素を盛り込んだ、シュールリアリスティックな雰囲気を持つ驚くべき世界を現出させます。さらにこの建物の地下スペースも、種田のインテリア・デザインによって変貌を遂げ、種田が美術を手掛けた映画のシーン映像や予告編等が上映されることになっています。

TANEDA

種田陽平は、岩井俊二監督、リー・チーガイ監督など、主にアジアのフィルムメイカーとの仕事が多く、また、アメリカのクエンティン・タランティーノ監督とも仕事をしています。同監督の『KILL BILL Vol. 1』の美術は種田が担当しました。神秘的でエキゾチックながらもリアリティを感じさせるのが種田の映画美術の特色ですが、街並みのシーン、あるいはホテルのロビーなどの印象的なインテリアに、こうした特徴が生かされています。こうした映画セットのベースとなっているのが、彼のスケッチや絵画です。彼の手がけたセットに登場する目を見張るような風景やオブジェのすべてを、こうした絵に見てとることができます。種田の作りだす世界は、日本映画やアジア映画に特徴的に見られる建築コンセプトや現代の都会を具現化しています。種田はアジアの様々な国々からシンボルを引き出し、それを使ってきわめて正確に都会や郊外の生活を描きだし、明らかにアジアとしてのアイデンティティを持ったヴァーチャルな都市を生み出しているのです。そうするなかで、常に種田はこうしたセットをシュールな世界へと変貌させています。

SIR&IFFR: 2010年1月30日

SIR はこのプロジェクトを、インターナショナル・フィルム・フェスティバル・ロッテルダム (IFFR) 2010 と同時に公開することにしました。1月30日土曜日の IFFR 初日、是枝裕和監督による『空気人形』がプレミア上映されます__これも種田が美術監督を務めた作品です。映画上映後には"Big Talk"と題して、Rutger Wolfson (ルトガー・ウォルフソン) (IFFR ディレ

クター) と是枝監督、種田の鼎談が行われる予定です。そしてこの日の締めくくりとして種田の Coolsingel Cube が公開され、Old Luxor Theatre 旧ルクソア劇場で映画が上映されると同時に、このすぐそばの Coolsingel Cube でも『空気人形』の抜粋が初公開となります。

幹線道路 Coolsingel 長期改修計画

種田による Coolsingel Cube は、2009 年から 2011 年まで長期にわたり予定されている SIR による Coolsingel 改修計画の一環です。Rotterdam's Urban Plan Housing Department(ロッテルダム都市計画・住宅部門)による Coolsingel 通り改修に先立ち、スカulptチャー・インターナショナル・ロッテルダム (SIR) では Coolsingel 通りでのイベント予定を組み、期間限定、あるいは暫定的なアートプロジェクトを計画しました。このプログラムが焦点を置くのは Coolsingel 通りの過去と現在、そして何より、予測できない未来です。そしてこの未来のため、新たな世代の手による、この地域にふさわしいアートワークを探ろうというのが大きな狙いです。

SIR 予定 (日程は変更の可能性あり)

Taneda's Coolsingel Cube

ファサード： 2010 年 1 月 26 日～6 月 (期間延長の可能性あり)

地下展示： 2010 年 1 月 27 日～2 月 7 日 (IFFR 開催期間中)

スカulptチャー・インターナショナル・ロッテルダム (SIR) はロッテルダム市議会の諮問団体です。SIR ではロッテルダム市内大都市圏の様々な地域における国際的アートワークの管理、発展に携わり、ロッテルダム市の文化的・国際的な活動目標を実現させるための支援を行っています。

SIR および種田陽平 (2010 年 1 月 20 日から 31 日までロッテルダム滞在) に関するご質問、インタビュー申込み、インフォメーションおよび/または視覚素材のご要望等については、SIR 広報課にお願いします。電話： +31 (0) 10 225 0854

または pr@sculptureinternationalrotterdam.nl

IFFR および映画祭予定に関するご質問は IFFR プレス・オフィスまでお問い合わせください。 press@filmfestivalrotterdam.com

または 電話： +31 (0) 10 890 9090 (担当： Bert-Jan Zoet または Nancy van Oorschot)

映画『空気人形』および是枝裕和監督に関するご質問は、Marnix van Wijk (『空気人形』のオランダにおける配給会社 Filmmuseum Distribute) まで。 mwijk@fikmmuseum.nl

または電話+31 (0) 20 589 1405 までお願いします。